

# 赤十字国際ニュース

2022 年 第 43 号 2022 年 6 月 30 日

(通巻 第 1507 号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門 1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6679-0785

E-mail: kokusai@jrc.or.jp <https://www.jrc.or.jp/>

## 【速報 19】 ウクライナ危機：

### 国際赤十字に 10 億円の追加資金援助を実施

日本赤十字社は、ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における赤十字の救援活動を支援するため、国際赤十字・赤新月社連盟(連盟)、赤十字国際委員会(ICRC)の緊急救援アピール(資金援助要請)に対して、10 億円の追加資金援助を実施しました。 連盟と ICRC に 5 億円ずつ送金し、各地で赤十字の中立な人道支援活動に使用されます。これまで、日本赤十字社から連盟と ICRC へ送金した合計額は 47 億 2000 万円(連盟・ICRC とともに 23 億 6000 万円ずつ)にのびります。

3 月 2 日から受付を開始しました「ウクライナ人道危機救援金」は、50 億円を超えるご寄付をお寄せいただいております。多くの皆さまから赤十字活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。継続的なご支援の下、国際赤十字を通じた援助ができておりますことに、心より感謝申し上げます。










ウジュホロド(ウクライナ)での物資配付の様子

## ■ウクライナ人道危機に対する赤十字の主な活動実績（2022 年 2 月～5 月）

### ウクライナ国内

ウクライナ赤十字社と ICRC を中心に、8,000 人以上のボランティアと共に、ウクライナ全土に広がるネットワークを通じて紛争地の最前線で被災者の命を救う支援を行ってきました。

項 目	主な活動内容／対象人数等
 物資等の救援	救護所への受け入れ……………50,000 人 水・食料・毛布などの救援物資の配付……………207 万人
 生活場所の確保	一時避難所の提供 ……………490,000 人 家屋の修繕支援 ……………5,300 戸
 給水・衛生および 衛生促進（WASH）	安全な水の調達手段の確保……………920 万人 衛生キットの配付……………107,950 人
 現金給付	生活支援金の給付 ……………106,100 人 (約 11 億 5000 万円)
 医療等の提供	救急法（応急手当）の指導 ……………52,750 人 心理社会的支援（こころのケア）……………31,951 人 医療サービスを受ける手段の確保……………3,650 人 医療施設への医療機器の提供 ……………40 施設
 安全な避難	移動・避難支援、救護所の設置……………10 施設、220,500 人
 安全確保と保護	安全な避難経路へのアクセス確保 ……………10,000 人 収容所に拘束された人々などへの支援……………5,000 人 親族の住所等の情報提供 ……………1,615 世帯 地雷知識などの危険回避教育 ……………1,296 人



首都キーウ周辺で救援活動を行うウクライナ赤十字社の職員

## ウクライナ周辺国及び危機の影響を受ける地域

ウクライナ人道危機は「ヨーロッパ最大級の人道危機」とも呼ばれ、ウクライナ国内のみならず、周辺国やその他ヨーロッパの地域を中心に大きな影響を及ぼしています。世界各地の赤十字社・赤新月社、連盟、ICRC は拡大する人道危機に対し一丸となって支援を行ってきました。（赤十字ボランティア 114,826 人、緊急対応要員 521 人、47 か国の赤十字社・赤新月社 2,021 支部）

項 目	主な活動内容／対象人数等
 物資等の救援	食料・水・毛布などの救援物資や生活必需品の配付、避難民救護所での支援等 ……3,617,664 人
 生活場所の確保	住宅再建、避難所、一時的な宿泊施設提供等の支援 ……647,257 人
 給水・衛生および 衛生促進（WASH）	安全な水の調達手段を確保、衛生キットの配付 ……920 万人以上
 現金給付	生活必需品や賃貸、保健医療、避難所など家計を支援するための生活支援金の給付 ……204,229 人 （約 23 億 8000 万円）
 医療等の提供	メンタルヘルスと心理社会的支援（こころのケア）、救急法（応急処置）指導、障がい者支援、医師の紹介等 ……355,705 人
 安全な避難	救護所での総合的人道支援、移動・避難の支援 ……546,017 人
 避難民への ケア	離散家族支援、チャイルドフレンドリースペース（遊び場）の設置、子ども・同伴者のいない女性等ジェンダーに基づく暴力リスクに対処するための保護（PGI）支援 ……119,529 人



チャイルドフレンドリースペースにて子どもと遊ぶ連盟の職員

ウクライナ国内外、危機の影響を受けた人々への支援は、今後何年にも亘り必要になると言われています。国際赤十字は引き続き、状況とニーズに合わせた、様々な支援を展開する予定です。これからも国際赤十字を通じた支援、そして日本赤十字が行う支援を継続できるよう皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

### 「ウクライナ人道危機救援金」

受付期間： 2022 年 3 月 2 日（水）～2022 年 9 月 30 日（金）

使途： 国際赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会、および各国赤十字・赤新月社が実施する、ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するために使われます。



**ウクライナ人道危機救援金へのご寄付はこちら**